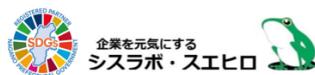


SDGs を現場で使う



- 地球の抱える課題 環境、社会、経済から考える
- 3つの要素と5つの原則からSDGsを理解する
そして、17のゴールと169のターゲットができた
- 環境経営を考える EA21_ビジネスモデル
- この改善は「世界とつながっている」、役立っている
「よい会社」「一人ひとり稼ぐ組織」をつくろう



次世代へ付けを回さない!! 2030年までに解決したい「地球の抱える課題」

このまま何もしなければ、世界は立ち行かなくなる
“指導者たちは何もせずにはられる、それが世界の現状だ”
COP25 グレタ・トゥンベリ



環境問題

- ・地球温暖化の進展、水資源の深刻化、エネルギーシフト問題、
- ・気候変動の激化、自然災害の増加、生物多様性の創出

社会問題

- ・貧困、教育機会の不平等差別とハラスメント
- ・感染症の流行
- ・少子高齢化、人口爆発
- ・紛争の複雑化や長期化

経済問題

- ・経済危機の頻発
- ・経済格差の拡大、若年失業率の高さ、雇用なき都市化
- ・社会福祉の財源の不足

SDGs (持続可能な開発目標)

2030年までの改善ではなく
「変革」を求めている
17のゴールと169のターゲット



「変革」はものの見方を変えること

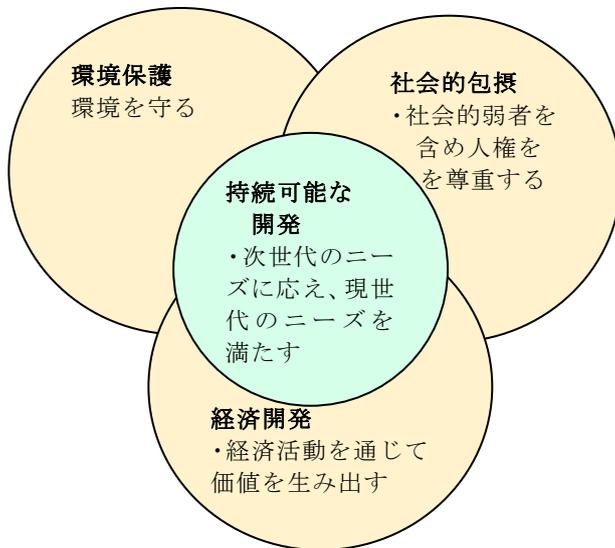
「過去の延長線上に未来はない」

- ・未来は予測できないが、
- ・未来はデザインできる
- ・未来とは「あるべき姿」

SDG sの視点から大幅なCO₂削減をしたい

複数の視点 SDG sの3要素と5つの主要原則

SDG sの3要素



SDG sの5原則

普遍性	国内実施と国際協力の両面で率先して取組
包摂性	人権の尊重とジェンダー平等の実現を目指し、誰一人として取り残さない
参画性	あらゆるステークホルダーと当事者による全員参加型
統合性	環境、社会、経済の3側面を統合的視点で解決策を考える
透明性と説明責任	取組結果を定期的の評価し公表する

【17ゴール】

1. 貧困
2. 飢餓
3. 保健
4. 教育
5. ジェンダー
6. 水・衛生
7. エネルギー
8. 成長・雇用
9. イノベーション
10. 不平等
11. 都市
12. 生産・消費
13. 気候変動
14. 海洋資源
15. 陸上資源
16. 平和
17. パートナリシップ

事業所視点 環境経営をSDGsで考える（環境、社会、経済の側面から）

＜環境が土台、崩壊すれば社会は不安定になり、経済成長どころでない＞

SDGsに関わり合いのない人は誰一人いない

場所	継続的改善活動 毎日が世界の課題の改善に貢献している
職場で できる こと	<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房の温度設定、適正照度、 ・コンプレッサーのエア漏れ ・設備空運転しない、待機電力 ・歩留まり、不良、ムダ取り、稼働率向上
会社で できる こと	<ul style="list-style-type: none"> ・照明のLED化、モーターのインバータ化など ・廃棄物の分別と適正処理 ・屋根に太陽光発電（再エネ活用） ・計画的に省エネ設備へ投資
地域で できる こと	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物は地元でマイバック ・eスタート、エコドライブ ・近いところは歩いて行こう ・地域での掃除やごみ拾い
家庭で できる こと	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコン温度、夏28℃、冬20℃ ・エシカル消費（人、社会、地域配慮の行動） ・紙・プラのリサイクル（マイカップ） ・建物の断熱、リホーム 窓の遮熱、断熱の工夫（カーテンなど） ・省エネ家電（古い冷蔵庫等）の買替

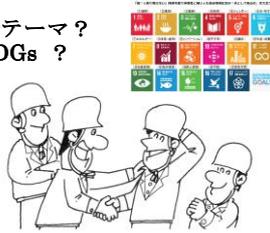
EA21_SDGsモデル

「利益」と「EMS」の両立性



③改善活動は「世界とつながっている」と意識し、共有する 組織目標：環境経営で「一人ひとり稼ぐ組織」を目指す KPI：付加価値/人、CO2

改善テーマ？
SDGs？



製造部門目標

テーマ： ○○製品の段取り時間短縮
(評価基準) 作業の準備～良品ができるまでの段取り時間
(目標値) 120分 → 100分

目標管理 実行計画表
作成日： 職場：第○係 実行責任者：

No.	各担当が実行できる具体項目を決める(1ヶ月位でできる) (なにを、どのように実行するか)	現 状	目 標	担 当	納 期	8月				9月				10月				
						1週	2週	3週	4週	1週	2週	3週	4週	1週	2週	3週	4週	
1	作業要領書作成 ◎○○さんと△△さんとで段取り作業要領書を作成する 時間は現状で早くできる時間を仮に入れる ◎関係者で時間短縮できないか議論し作業方法を替える (週2回) 作業要領書を修正する ①刃物、治具の取り付け ②刃物、治具の取り付け ③プログラム確認、動作確認 ④原点位置決め、工具補正 ⑤手動運行、微調整 ⑥検査確認し、1個目の良品(初物チェック合格)を作る	—	—	△△	8/11		→											
2	刃物、治具の5Sと置き方工夫 ◎刃物、治具のリストを作る ◎刃物、治具のセットコンテナをつくる 事前に準備する ◎刃物、治具用工具リストを作成する ◎刃物、治具用工具セットコンテナを作る	—	—	□□	8/18		→											
3	時間稼計を行う ◎稼取り時間の集計をみんなにフィードバック ◎フィードバックの結果を話し合う(週2回) ◎口口さんのQJTを行う(3~5回で一人前)	—	120	100	9/30													